

今、「ここ」を生きる勇気

劉康潤

皆さん、自分の人生を変えた経験をお持ちでしょうか。私はまさに経験者です。今日はぜひ自身のストーリーを皆さんとシェアしたいと思います。

私は今、学内の国際支援ボランティアとして海外からの訪問者に対応するなど、学校の国際的活動をサポートしています。こんな私ですが、実はかつて人見知りでした。初対面の人と会話したり、もしくは大勢の前で話したりするのはずっと恐怖感を抱えていました。

昨年四月に入って、ふと危機感がわいてきました。なぜかというと、半年後の就活がもう迫ってきたからです。こんな自分が就活を乗り越えられるのかと、自分の将来に絶望を感じました。

そんな時、偶然に、こういう考えと出会って、心の中に響きました。「人間は目的に沿って生きている」。言い換えると、今、自分の人生を決めるのは、過去ではなく、今の目的である、ということです。

この考えに従って自分のことを振り返ってみました。もしかして、人見知りを克服できないのは、他ではなく、自分の意識で選択したことなのではないか。なぜかというと、自分自身を変えるのは、時間と労力が必要です。こういった時間と労力を費やすことより、人見知りから感じた苦痛は、まあまあ、何とか耐えられます。また、私は失敗を怖がっています。そこで失敗を回避する、一番楽な方法は「何もしない」ことです。そして、自責を感じないように「私は内向型人間だ!」という言い訳を使いまくってきました。つまり、過去に生きていて、「今、ここ」を生きる自分に向き合う勇気がない、ことです。

一方で今、自分の目的は就活で内定をもらえることです。「今、ここ」を生きる勇気を持つというのは、目標を実現するために「何が与えられているのではなく、与えられたものをどう使うか」、という風に考えるようになることです。ここでは確かに、私の性格が内向的ですが、こんな自分だって、目標のためにできることはたくさんあります。そうしなければ、先に待っているのは失敗ばかりの就活に違いないと考えました。

そういうわけで、私は一步を踏み出して、ボランティア活動に参加するようになりました。たくさんのボランティア活動を通じて多くの人と出会い、会話をすることで、自分の対人能力、発信力を鍛えてきました。そして一年間頑張り続けた結果、面接の時にも、自信を持って自分の強みを発信することができ、いい会社から内定をもらいました。まさに勇気を持つことで、自分の人生を変えました。

過去のことに関わらず、常に今の自分と向き合う勇気。つまり今「ここ」を生きる勇気はすでに自分の大切なものになりました。今後も引き続き成長するために、私は、こういった勇気を持って、社会人生活を迎えたいと思います。(1115)